



千葉国際芸術祭 2025

Chiba City Arts Triennale 2025

ちから、ひらく。

千葉国際芸術祭2025

7月/8月に参加できる
イベントをご紹介します!

ー目次ー

7月/8月に参加できるイベントをご紹介します！

- ・「対話について」ワークショップ
- ・「いまあるちばの形を伝えてみよう！」ワークショップ
- ・「穴掘りワークショップ」
- ・「マイクロプラスチックで万華鏡を作ろう！」ワークショップ
- ・「“ガード下神殿に願う” 風鈴短冊づくりと奉納」ワークショップ
- ・「引き倒し/興し: Pull and Raise/Topple」パフォーマンス

「対話について」ワークショップ」



2025/7/19(土)開催(アーティスト:前島悠太)

14:00~16:00

会場:第一山崎ビル屋上(千葉市中央区富士見2丁目9-28)

対象:どなたでも参加可能(各回7名(先着順))

持ち物:「落書き」ができそうなハンカチ、端切れなどがあればご持参ください。



申込みフォーム
7/16(水)まで

どんなプロジェクト??

対話を行いその痕跡で旗を立てるプロジェクト。
ワークショップでは、そこで出会った人同士が布やハンカチ等に共に「落書き」をしながら自由に語り合う。ワークショップを通していくつもの布に残された「落書き」=「対話の痕跡」をアーティストがつなぎ合わせることで、それは旗となる。自分の身体で会いに行くこと、自分の目で目撃すること、時間と空間を共有すること、対話をすること。プロジェクトを通じてそれらについて考える。



「いまあるちばの形を伝えてみよう!」ワークショップ



2025/7/20(日)・21(月・祝)開催(アーティスト:諏訪部佐代子)
10:00~12:30

単発参加も大歓迎!



申込みフォーム
各回3日前まで

集合場所:アーツうなぎ2階(千葉市中央区市場町9-14)

対象:千葉にゆかりがある子ども(小学3年生以上)から大人まで
各回15名(先着順)

持ち物:歩きやすい靴、飲み物、帽子、汚れてもいい服、日焼け止め、筆記具

どんなプロジェクト??

まちを歩きながら、粘土でまちの模様を写しとるワークショップ。
市内で過ごす日常の中にある「変わりゆくもの(エフェメラルなもの)」を土で形に残し、焼き締め(野焼き)によって作品化し、展示するプロジェクト。参加者とまちを歩きながら、風景や記憶に残したいものを粘土で拓本のように記録し、最終的にインスタレーションとして発表・展示する。



「穴掘りワークショップ」



2025/7/26(土)・27(日)・8/16(土)・17(日)開催

(アーティスト:手と具)

各日①10:00~12:00 ②12:30~14:30 ③15:00~17:00

会場:黒砂台空き地(千葉市稲毛区黒砂台1-21-15)

対象:千葉にゆかりがある子ども(小学3年生以上)から大人まで

各回8名(先着順)

持ち物:汚れても良い服装、着替え、帽子、飲み物、グリップつきの軍手

どんなプロジェクト??

ふつうの住宅街にある何気ない空き地に集まって、スコップを持ち、共に汗を流しながら穴を掘る。私たちの今の暮らしの足元に眠る過去をのぞき、そこから未来を想像するワークショップ。千葉の土を用いて器を制作・野焼き焼成し、それらが一万年後に発掘されることを想定したインスタレーション。



申込みフォーム
各回3日前まで



「マイクロプラスチックで万華鏡を作ろう!」ワークショップ



2025/7/27(日)開催(アーティスト:安西剛)

13:00~16:30

会場:稲毛ヨットハーバー2階 会議室(千葉市美浜区磯辺2丁目8-1)

対象:小学生~高校生(小学3年生以下は保護者の同伴をお願いします)

10名(抽選制)

持ち物:帽子、飲み物、メモ帳、筆記用具

どんなプロジェクト??

稲毛海浜公園の砂浜に出て自分たちの手でマイクロプラスチックを採取した後、それを使って万華鏡を作るワークショップ。私たちの役に立つ日用品の形をさせられたプラスチックは、海流に乗り長い旅を経て、生活に厄介な小さな破片へと姿を変え、人間の目にはよく見えなくなってしまう。人間の利便のために擦り減り、身を粉にして頑張ったプラスチックをたたえるため、自分たちで砂浜から採取したマイクロプラスチックで万華鏡を作り、拡大しながらいろんな角度から眺めてみよう!



申込みフォーム
7/21(月)まで



「“ガード下神殿に願う” 風鈴短冊づくりと奉納」ワークショップ



2025/8/11(月・祝)開催(アーティスト:伊東敏光)

①10:00~12:30 ②14:00~16:30

会場:西千葉工作室(千葉市稲毛区緑町2-16-3 萩原ビル1階)

対象:どなたでも参加可能(各回10名(先着順))

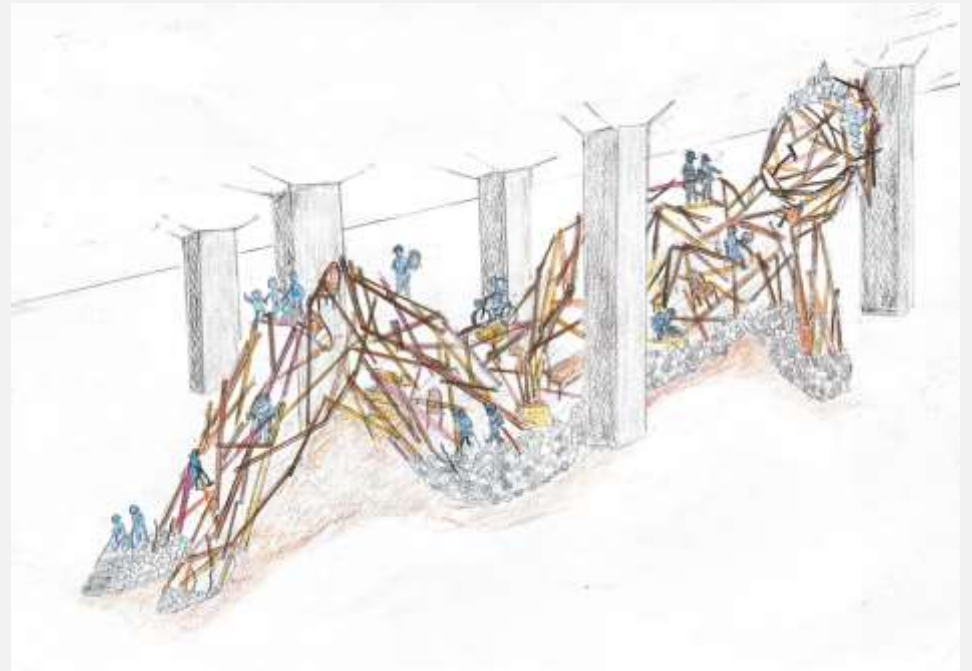
持ち物:飲み物



申込みフォーム
8/4(月)まで

どんなプロジェクト??

西千葉駅脇のガード下にアーティストと住民の皆様との協働によって新たな神殿を築いていくプロジェクト。御神体となる、横たわる巨大な女神像は、地域の家屋や家具など人々の生活を支えてきたものの廃材を用いて造像。女神像の体には数多くの風鈴が吊るされ、列車の通る音や駅前の喧騒と共に、涼やかな音がガードの空間に響く。本ワークショップでは、その風鈴の一部となる短冊部分の制作を行う。



「引き倒し/興し: Pull and Raise/Topple」パフォーマンス



2025/8/31(日)開催(アーティスト:加藤翼)
会場:幸町団地(千葉市美浜区幸町)

どんなプロジェクト??

千葉に点在する住宅団地を対象に、その歴史的背景や現在の住民の暮らしをフィールドワークによって丹念に読み解きながら進めるプロジェクト。生活リズムや言語の違い、物理的な距離によって分断されがちな人々が、ひとつの行為を共有することで生まれる一時的な共在の場。それこそが、団地という集合体が新たなかたちで再構築される瞬間になると考えている。団地に暮らす外国人労働者と、長年そこに暮らしてきた高齢者、それぞれにインタビューを行い、その言葉や身体記憶を手がかりに構築物を設計・制作。完成した構築物を団地内の広場に設置し、住民たちとともにその構築物を「引き倒し/興し(Pull and Raise/Topple)」するパフォーマンスを実施する。



詳細は後日
公式HPにて公開



引き倒し/興し: Pull and Raise/Topple "Black Snake"2017
スー族スタンディングロック居留地、ノースダコタ、アメリカ